

厚生労働科学研究委託費（長寿科学研究開発事業）

委託業務成果報告（業務項目）

業務項目名：

地域診断と見える化ツールを活用した介護予防施策マネジメント・パッケージの開発

d. 介護予防事業計画の立案までのマネジメント・プロセス開発

d-4. 岩沼市・口腔保健

健康の社会的決定要因を含む地域診断結果の多職種間での共有に関する研究

担当責任者 相田 潤 東北大学大学院歯学研究科 准教授

### 研究要旨

個人の健康や保健行動は、社会環境を含む様々な要因に左右されている。この健康の社会的決定要因の概念は高齢者の健康を考える上でも重要であり、多職種の連携により多様な社会的決定要因にアプローチしていくことが必要である。このために、地域の社会資源を含めた状況を分析し、多職種で情報を共有することを目的として研究を行った。方法としては、日本老年学的評価研究（JAGES）プロジェクトの2013年調査のデータを用いて、I市の健康や社会環境の状況を分析した。その結果をI市の行政担当者らに検討していただき、さらに必要な情報について意見を得て、追加分析を行った。これらの結果を地域包括支援センター職員や社会福祉協議会職員らに示し、現場での実感や調査結果からの発見について、研究者、行政担当者を交えて話し合った。その結果、買い物が不便で食生活が比較的悪い地域や、独居が多く電球交換などの日常的な手伝いが必要な地域が明らかになり、こうした情報が共有された。今後の対策に活用されていくと考えられた。こうした取り組みを継続的に続けていく仕組みの確立が今後必要であろう。

### A. 研究目的

< 背景 >

個人の健康や保健行動は、社会環境を含む様々な要因に左右されている<sup>1)</sup>。この健康の社会的決定要因の概念は高齢者の健康を考える上でも重要であり、多職種の連携により多様な社会的決定要因にアプローチしていくことが必要である。このための最初の一步として、地域の社会資源を含めた状況を分析し、多職種で情報を共有することが、その後の戦略や対策を立てる上で必要である。そこで、研究者、行政、高齢者へのサービス提供者が高齢

者の健康と社会的決定要因に関する状況を把握し、その地域診断の結果を情報共有して話し合いをして解釈を行うことを目的として、研究を行った。

### B. 研究方法

本老年学的評価研究（JAGES）プロジェクトの2013年調査のデータを用いて、I市の健康や社会環境の状況を分析した。その結果をI市の行政担当者らに検討していただき、さらに必要な情報について意見を得て、追加分析を行った。これらの結果を地域包括支援センタ

一職員や社会福祉協議会職員らに示し、現場での実感や調査結果からの発見について、研究者、行政担当者を交えて話し合い、課題を検討した。

本研究自体は、二次データの解析結果を利用したものであり、倫理審査の必要はない。また用いたデータの取得に当たっては、東北大学大学院歯学研究科倫理専門委員会の承認（24-29）を得た上で調査を実施した。

（倫理面の配慮）

本研究は東京大学医学部倫理審査委員会の承認を得た（番号10555）。

## C. 研究結果

### 1. I市の高齢者の状況（地域診断）

I市の高齢者の状況の解析結果の概要は次の通りである（図1）。保健行動に関しては、歩く時間や外出、転倒といった身体的機能が比較的高い人は、N小学校地区でやや多く見られた。喫煙習慣に大きな地域による違いは見られず、約90%の人がタバコを吸っていない。T小学校地区では飲酒をしない人がやや多かった。食生活は、I小学校地区とN小学校地区で良好な人がやや多かった。病気の治療や健診受診をふくむ健康状態がよい人はN小学校地区とM小学校地区でやや多かった。健康状態として、日常生活動作（IADL、買い物や洗濯、掃除等の家事全般や、金銭管理や服薬管理、外出して乗り物に乗ることなどの、日常生活を送る上で必要な動作）については、市全体で全て行える良好な人の割合は40%であった（図2）。N小学校地区の日常生活動作（IADL）が全て行える人の割合が高い傾向があった。うつ傾向がない者については、N小学校地区でやや多く見られた。睡眠に関しては、自身で睡眠の質が良いと判断する者は70%を超え、約50%の者が朝起きた時の熟睡感を感じ

ていた。睡眠において全体的にN小学校地区がやや良い傾向が見られた。

社会環境として、趣味活動や社会参加、交流や助け合いについてまず示す（図3）。趣味がある人は全ての地区において70%を超えており、N小学校地区で最多であった。スポーツ関係のグループやクラブの参加する人はM小学校地区にやや多かった。町内会・自治会の参加する人はT小学校地区とI小学校地区にやや多かった。参加するだけでなく運営にも関わる活動グループについては、町内会・自治会の運営に関わる者が全体で約14%と多かった。中でも、T小学校地区では老人クラブ、町内会・自治会、地域行事の活動において他の地区よりも運営に関わる者が多く見られた。次に、趣味関係のグループやスポーツ関係のグループやクラブ、介護予防・健康づくりの活動でさらに参加したいと答える割合が高かった。最も頻繁に参加する活動グループについては、趣味関係のグループにはN小学校地区とI小学校地区で多く見られた。また、T小学校地区では、老人クラブや町内会・自治会、地域行事の活動に頻繁に参加していた。地域行事（お祭り・盆踊りなど）への参加する人はT小学校地区で多かった。また友人・知人と会っている人や、愚痴を言う相手がいる人、愚痴を聞く相手がいる人は全体的に高かった。近所付き合いについてはT小学校地区で盛んであった。

その他の地域環境や食料品の入手環境については次の通りである（図4）。平地の多いI市全体では、坂や段差など、歩くのが大変なところが「ない」と答えた人の割合が高く、70%を超えていた。気軽に立ち寄ることができる家や施設があると答えた人の割合は、地域による違いはほとんど見られなく、全体の平均は35%であった。N小学校地区では、魅力的な景色や建物がある、落書きやゴミの放置が目立つところがないなどの回答が、高い割合

を示した。I小学校区では、生鮮食料品が手に入る商店・施設・移動販売があると答えた人の割合が高く、79%であった。一方でT小学校区では生鮮食品の入手や買い物が難しい人が多い傾向にあった。食料品の購入方法は、自分で出かけて買い物している人の割合が、M小学校地区、N小学校地区、I小学校地区で高い割合を示した。T小学校地区では、家族等の送迎で買い物している人、家族等に頼む人の割合が高い傾向があった。宅配サービスを利用している人の割合は、地域による違いはほとんどなく、市全体で8%の人が利用していた。

介護ニーズに関しての質問からは、配偶者や子への介護希望が多いことが示された。希望する介護生活様式は、どの小学校区も家族介護+介護保険サービスの利用を希望する人が多かった。希望する介護サービスの種類は、訪問介護、訪問看護、デイケア、施設入所・グループホーム入所が多かった。日常生活の困り事は、家の中の修理・電球交換・模様替え、掃除、買い物が多く、地域による違いがあった(図5)。安心な生活のために希望するサービスは、家事援助等が多かった。すでに利用・関心のある高齢者事業は、健診、介護家族への支援、防災・災害対策が多かった一方、どれもあてはまらないとする人も3割程度いた。

## 2. 多職種における地域診断結果の共有と意見交換

これらの結果を介護福祉担当課行政職員、地域包括支援センター職員や社会福祉協議会職員に示し、情報の共有と対策についての意見交換を実施した。

現場で働く実感として感じていたことが、客観的な数字として示されたという意見が多かった。また、独居高齢者の多いI小学校区では家の中の修理や電球交換、模様替えの困り

ごとが多かったが、すでにボランティアによる対応も実施しているとのことであった。また買い物が難しいT小学校区では、買い物環境の整備を検討するとのことであった。

## D. 考察

今回、健康の社会的決定要因を含めた地域診断を行い、多職種で情報共有を行い、課題について検討することができた。

社会環境を含めた地域診断は、重要性が分かっているにもかかわらず実施が難しい部分も存在する。研究者がその部分を担当することで、効率的に実施できると考えられた。またこの情報を多職種間で共有することで、問題意識を共有化したり、今後の対策に活用することができると考えられた。現場での実感を数字にすることで、説得力のある提案に結びつけることもできると考えられる。

今後、こうした取り組みをシステム化して継続的に実施していくことが必要であろう。

## E. 結論

健康の社会的決定要因を含めた地域診断の必要性と、その結果の多職種における共有が重要であると考えられた。

## F. 研究発表

### 1. 論文発表

なし

### 2. 学会発表

なし

## H. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む)

### 1. 特許取得

なし

### 2. 実用新案登録

なし

### 3. その他

なし

#### <引用文献>

- 1) 近藤克則（編）: 健康の社会的決定要因  
疾患・状態別「健康格差」レビュー. 東京:  
日本公衆衛生協会; 2013.

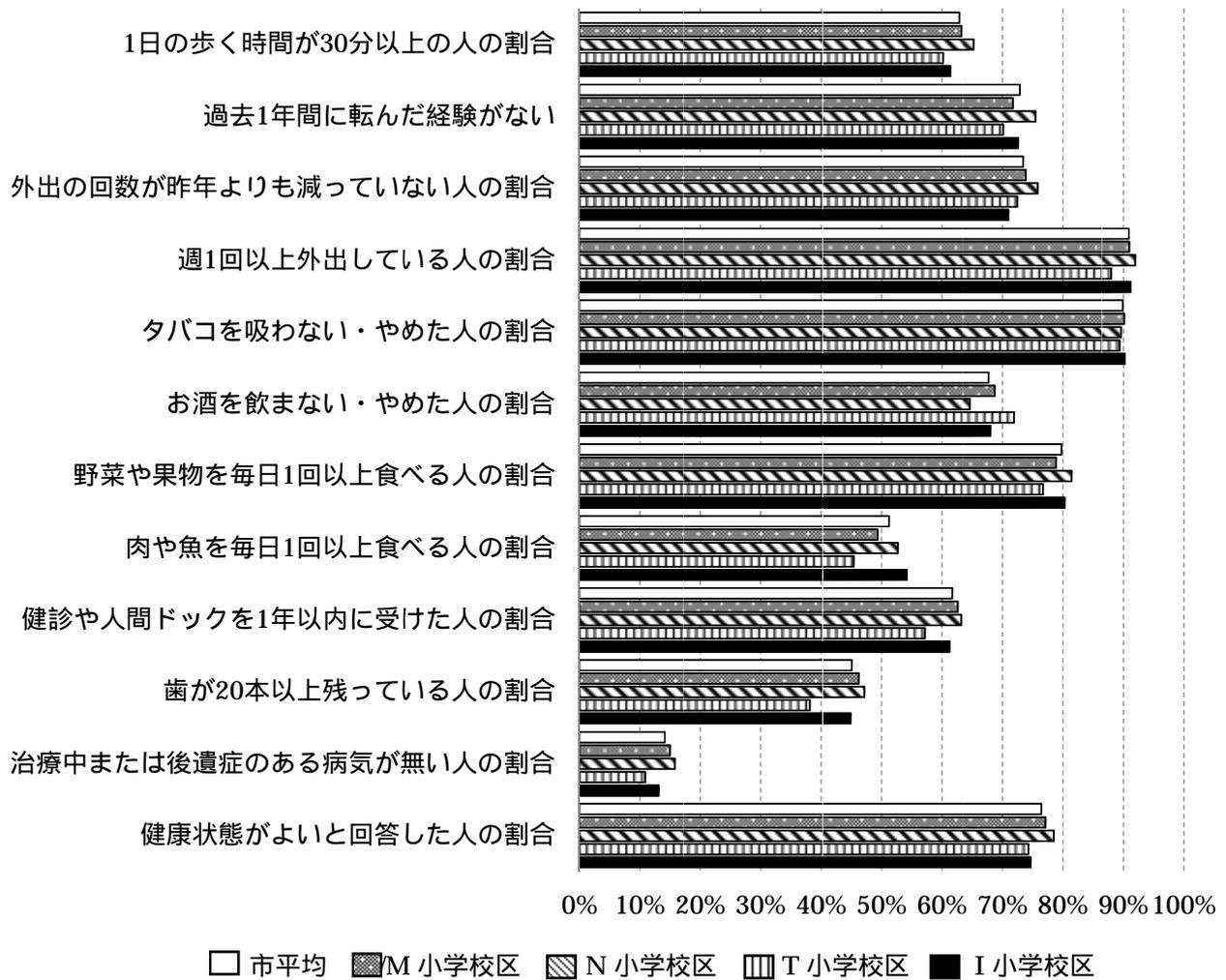


図1. I市の高齢者の健康や保健行動

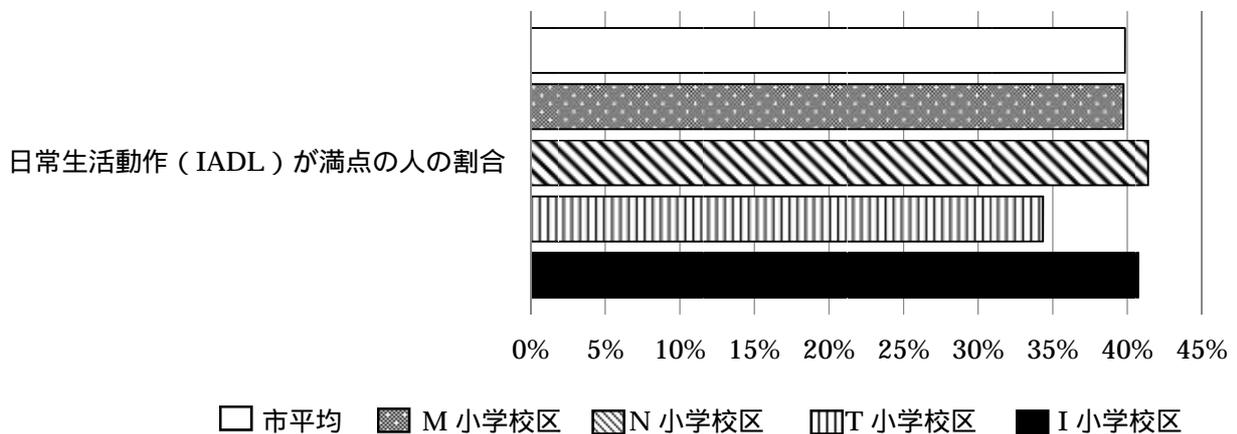


図2. I市の高齢者の日常生活動作 (IADL)

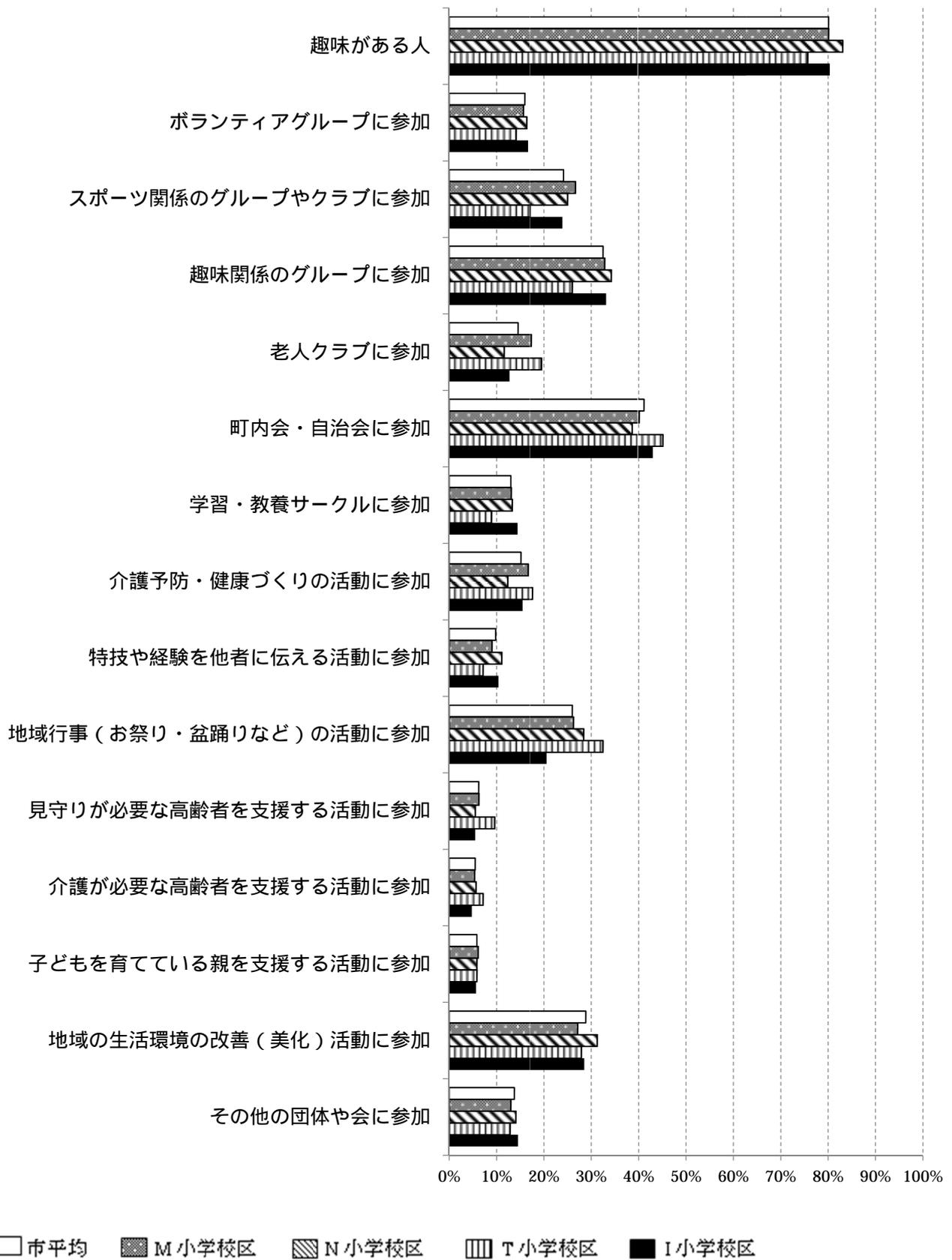


図3. I市の高齢者の趣味活動や社会参加、交流や助け合いなどの社会環境の状況

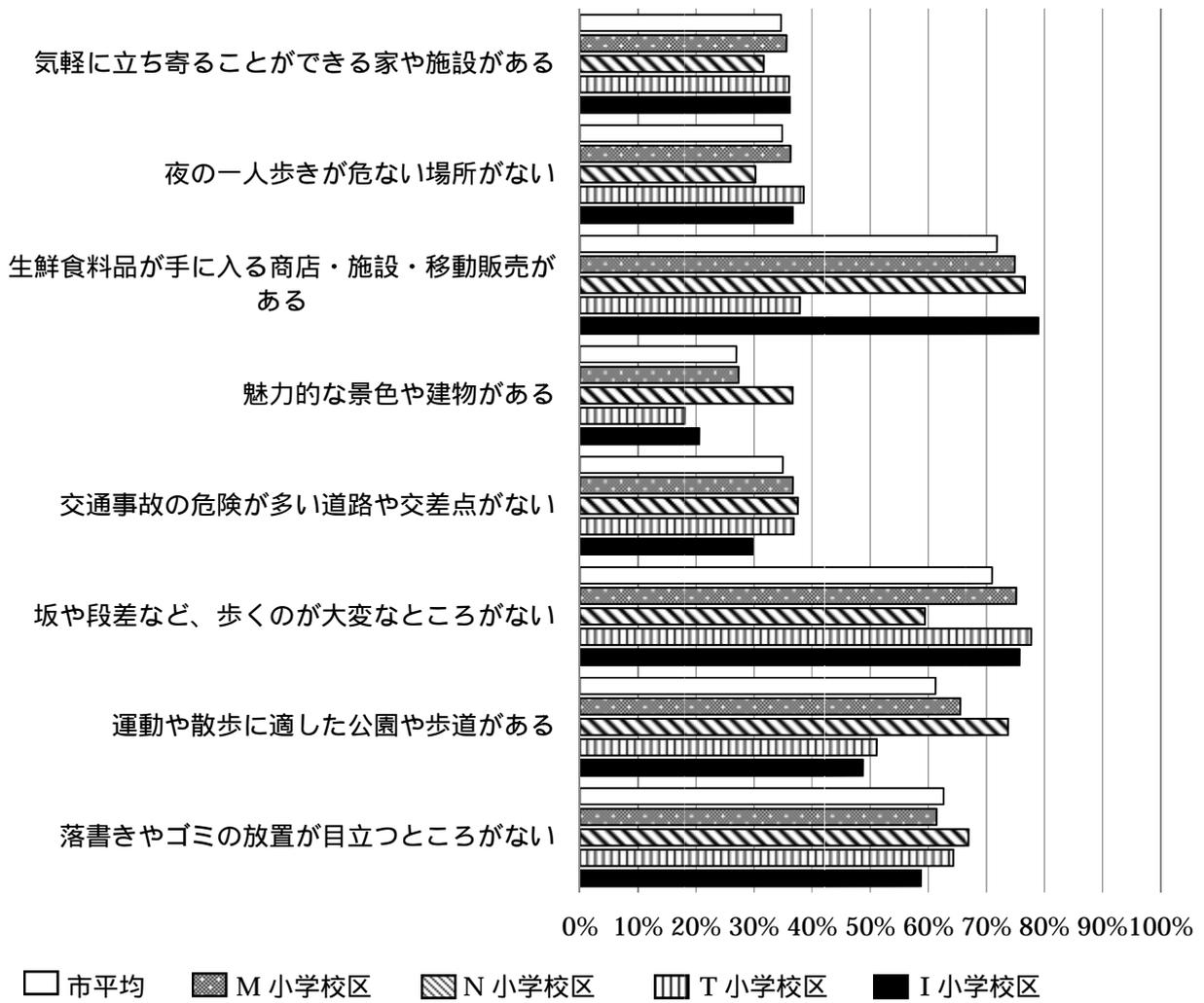


図4. I市の地域環境

日常生活の困り事（複数回答、上位3項目）

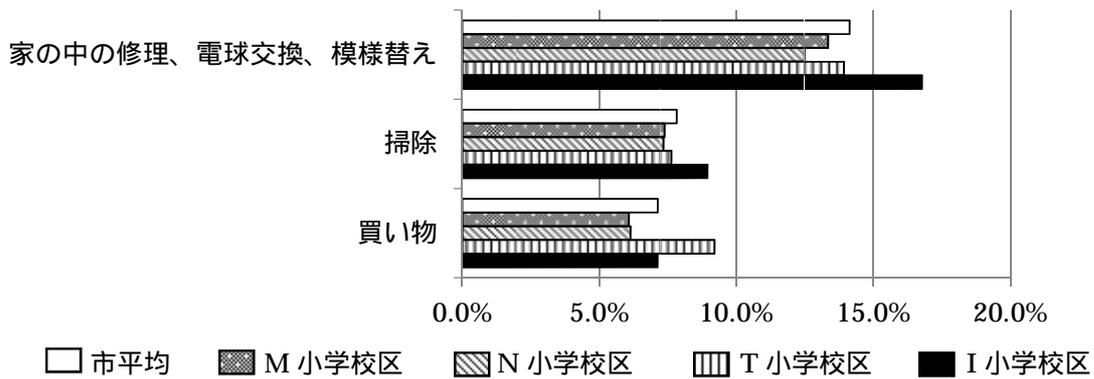


図5. 地域ごとの日常生活の困りごとの割合